



# 国中だより

シ：国立市HP → く に たちの教育 → 国立市立小中学校へアクセス

国立第一中学校  
学校だより  
平成27年度12月号  
12月15日(火)発行



## 人のために

副校長 山上 真哉

どんな状況でも心折れることなく、黙々と投げ続ける黒田投手。その彼が大切にしているものとは…。

平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害は、まだ記憶に新しい出来事です。あの「広島土砂災害」において死者74名、住宅の全半壊は何と百数十棟という甚大な被害を及ぼしました。その後、多くの民間の方々も復興のためのボランティア活動を行いました。その中には、黒田投手もいました…。

・・・「わしは野球には興味がないけえ、サッカーファンなんよ。じゃけえ、地元テレビ局の人と一緒に”彼”が来てくれたときも、体の大きな無口なカメラマンじゃあ思おとった。で、リラックスさせるために言うたんよ、『あんた、テレビで見たことあるよ』と。黙ってうなづくだけじゃった(笑)」

昨年10月25日、広島市の土砂災害で被災した安佐南区に住む野間さんは、駆けつけてくれたボランティアの人たちとともに半壊した自宅の片付けに追われていた。休憩時間に彼らを自宅に招き入れ、災害当時の写真を見せていた。そんな時、訪ねてきたその”体の大きなカメラマン”こそ、8年ぶりの広島復帰を決意した黒田投手だった。

「しばらくすると、みんながざわつきだして、『ウソっ？黒田さん？』と言うたんよ。もうビックリじゃ。皆が喜んで彼を取り囲むようじゃった。忘れられんのは、若い女性が『今年もアメリカで頑張りましたね』と言うたんよ。そしたら黒田投手は突然人一倍大きな声で、『いえ、本当に頑張っておられるのは、あなた方です！』と言うたんよ。もう、どんだけすごい人じゃろうか」

(テレビ派 ”広島愛” 黒田投手被災地逸話より)

広島土砂災害が起こった時、黒田投手はアメリカのニューヨーク・ヤンキースで活躍していました。しかしこの年、彼はヤンキースから出された年俵21億円の提示を蹴って、古巣の広島東洋カープへ復帰しました。米メディアからは「クレイジー！なぜ？」と報じられましたが、広島東洋カープへの復帰の理由を「ファンへの使命感」とさりげなく話しました。お金よりも、地元愛を優先させて帰ってきたのです。

私もこの報道には、鳥肌が立つほど感動したのをよく覚えています。

黒田投手は広島に様々な思いを抱いていたはず。「この災害の状況も含め、今自分がこの広島に貢献できることは何だろう。・・・」

自分が今頑張れるのは様々な人の支えや応援があるから成り立っていると強く感じているからこそ、お金では買えない「地元愛」を優先させ、広島に恩返しをする思いで帰ってきたのだと思います。そういう思いがあるからこそ、土砂災害で苦しむ人たちを見過ごすことができずにいたのだと思います。

かつて日本人は、災害があると金を出す人は出さないとされていました。その精神を変えた大災害が平成7年に発生した阪神淡路大震災でした。死者6,500人という大災害は毎日生々しい映像を流し続けました。そして残酷な現実と併せて、奇跡の救出劇も多く報道されました。人手が必要なことも連日報道され、日本中から復興に向けて1年間に138万人ものボランティアが駆けつけました。この年は「ボランティア元年」と呼ばれるようになったそうです。そう考えれば、日本人にとってボランティアの歴史はまだ浅いのかもしれません。

本校では、11月から落ち葉はきのボランティアを募り活動しています。校庭や道路に散らばっている落ち葉を集める作業です。この時期、毎日用務員が一生懸命この作業を行っていますが、とても追いつきません。近所の方々も、国中から舞い散る落ち葉を集めてくださいます。毎日何気なく生活している私たちですが、私たちにとって生活しやすい環境は、こうして多くの方の力があって成り立っています。

ボランティア活動は強制的に行うものではありません。また見返りを期待して行うものでもありません。自分自身がその状況を見たり聞いたりしたとき、その現実を素直な気持ちで受け止め、行動したら、それが人のためになり、喜ばれたり感謝されたりすることにつながるのではないのでしょうか。

人は一人では生きてゆけません。様々な人に支えられ、支え合うことで人として生きがいをもって充実した毎日が送れるものです。常に感謝する気持ちをもちながら生きていきたいものです。

# 2年ボランティア活動～大学通り花植え

大学通りの花植えボランティアも今年で7年目を迎えました。今年も「くにたち桜守り」の大谷さんのご指導により2年生が実施しました。花植えは11月27日（金）に行いました。大学通り沿いの花壇には、昨年同様に4、000を超える様々な花の苗や球根が、幾何学模様の色や種類を分けて植えるように用意されていました。生徒達の熱心な活動の結果、紅葉にマッチしたきれいな景色が出来上がりました。大学通りにお越しの際は、ぜひご覧下さい。



## 地域と共に

11月28日（土）、育成会による落ち葉はきを三小校庭で行いました。男子バスケットボール部員や生徒会役員と、たくさんのボランティアが集まってお手伝いを行ってくれました。最後に、落ち葉や材木を燃料に焼けた焼き芋を、おいしくいただきました。

12月10日（木）、一橋大学前の一中花壇でボランティア生徒を募集して花植ボランティアを行いました。事前に「花育み委員会」で石井委員長を中心に市役所の生活環境部の方や竹村園芸の金子さんを交えて生徒と打ち合わせを行い、花の種類や色について打ち合わせ、生徒が主体的に活動することができました。当日は38名の生徒が集まり、熱心に花植活動を行うことができました。

## 第7回中学生「東京駅伝」大会

10月29日（木）、第7回中学生「東京駅伝」大会の国立市選抜選考会が国立三中グラウンドで行われました。この大会は2年生が対象で東京都市区町村50チームによる大規模なレースで、今年も味の素スタジアムで2月7日（日）に行われます。

今年は他市と比べても引けをとらない選手が多くいます。国立市として過去最高のタイムを期待していますので、応援よろしくおねがいします。

### 「一中の出場者」

#### 「男子」

竹根澤洸羽（2-1）後藤奏斗（2-1）平井優（2-1）  
小早川裕人（2-2）宮下葵（2-2）石井英介（2-2）  
今井豪士（2-3）西澤佑真（2-3）清水望（2-3）  
大谷俊翔（2-4）勝山翔貴（2-4）

#### 「女子」

権田紫乃（2-1）平金桐（2-2）吉田理紗（2-2）  
林 弓（2-2）鴫田奈那（2-3）木塚有映（2-4）  
住吉厚優美（2-4）高橋紫緒夢（2-4）

## 「表彰」

平成27年度 税の作文

多摩納税貯蓄連合組合連合会 優秀賞 猫西 祐希（2-4）

東京都立川都税事務署長賞 吉木 亜沙濤（2-2）

市長賞 鴫田 奈那（2-3）

平成27年度 税の標語

税務署長賞 鯉江 和佳奈（1-1）

「命の大切さ」ポスター展

優秀賞 米山ふうか（1-4） 佳作 飯田 緑（2-2）

佳作 李 紗彩耶（1-5） 佳作 西川 陽菜（2-3）

明るい選挙ポスターコンクール

奨励賞 辻 駿行（1-1）

「未来のくにたち」作文

市長賞 古関 暁典（2-3） 教育長賞 新島 瑠菜（2-1）

基本構想審議委員会委員長賞 上田 恭豪（3-1）

優秀賞 田中 万尋（1-1）

《12, 1月の主な予定》 12月

- 11日(金) 全校朝礼
- 16日(水) 専門委員会④
- 17日(木) ボランティア1年、A組
- 23日(水) 天皇誕生日
- 24日(木) 給食終 大掃除
- 25日(金) 終業式
- 28日(月) 冬季休業始め



1月

- 8日(金) 始業式 避難訓練
- 11日(月) 成人の日
- 12日(火) 給食始
- 13日(水) 専門委員会
- 16日(土) 土曜公開授業 新入生保護者
- 20日(水) 部活動無し
- 24日(日) ~26(火) 移動教室1年
- 27日(水) 都立推薦入試 教育委員と生徒会懇親会

